

特定健診受診率向上のための取組 (福井県保険者協議会)

令和2年1月16日 (木)
都道府県担当者ブロック会議 (近畿ブロック)

特定健診受診率向上に向けた取組①

○今年度実施の保険者協議会専門部会（第1回：8月実施、第2回：10月実施）において、各保険者の取組事例を共有

→各保険者の事業内容・方針等を共有し、意見交換を行った。

- ・意見交換にて各保険者から出た意見より、保険者横断的に取り組むべき事項を整理し、後ほど紹介するクーポン事業等を共同して実施することとなった。

特定健診受診率向上に向けた取組②

○ポケットティッシュの製作・配布（約20,000個）

- ・ 構成保険者へ配布（約17,500個）
→各保険者は窓口にて配布するほか、各々が開催するイベントにて配布。
- ・ 県内の大規模イベントでの配布（約2,500個）
→県が主催する食の大規模イベント（嶺北・嶺南地域、各1か所）にて配布。



特定健診受診率向上に向けた取組③

- 保険者協議会として福井新聞の広告コーナーに協賛し、医療機関に在籍する医療専門職が特定健診受診の重要性を説明するインタビュー記事を掲載（今年度は年5回掲載）
→来年度は地域情報誌の広告コーナーに協賛予定。



第10回 休日は自分を「メンテナンス」しよう。
漢方で体と心をととのえる



病気ではないけれど、小さな不調がちらほら。体の声に耳を傾け、体の状態を知るために、漢方薬局を訪れてみませんか。
 薬剤師がじっくりと話を聞き、体質や症状に合った薬を見立ててくれます。

カンボウのはじめかた。

体中心のバランスが崩れると、様々な症状が起きます。漢方ではこのバランスをととのえ、自然治癒力を高めることを何よりも重要だと考えられています。漢方薬局は何となくだるい、疲れやすいなど病気未満の「未病」を改善し、予防するものが得意。同時に体質を把握し、治療方針と漢方薬を決定。予算に応じた提案をしてくれ、厚手の仕方・調剤を細かく指導してくれます。

漢方相談の主な流れ

【協力：せつめ堂 千代巻林次さん】



1 最近の体と心の状態を丁寧にヒアリング。体の中に蓄積しているもの、足りないものを対話から導き出していく



2 カウンセリングシートに身長、体重のほかに細かい症状を書き込み、体と心をチェックする



3 漢方の診断で欠かせない「舌診」。舌のつよ弱や舌の色などを観察し、内臓の状態をチェック



4 カウンセリング後、皆様の心算やサプリとの飲み合わせも確認して、個別的に最適な漢方薬を決定

ポータルサイト「ふーぽ」で健康・美容の記事を更新中!



あなたを救う! 健診



最近お健診ができてきました。これってメタボですか?
 (40代・女性)



メタボリックシンドロームは、内臓脂肪の蓄積で高血糖や高血圧、脂質異常が重複している状態です。「少し太り気味なだけ」と軽く考えていても、その状態が続けば動脈硬化が進み、心臓病や糖尿病などの重症化につながります。予防するには、毎年必ず健康診断で体の状態をチェックし、運動不足や食べ過ぎを改善すること。福井県は運動量が少ないといわれ、毎週運動量も目標に届いていません。福井市ではプラス「10分の運動」とプラス「1皿の野菜」を推奨しています。私たち保健師はご家庭や企業を訪問し、健康づくりをサポートいたします。



福井市福祉保健師保健衛生局
 健康増進センター 保健師 牧野由紀子さん

福井県保険者協議会HPをチェック!



わたしたちも「ふくいキレイ女子大」の活躍をサポートします。



特定健診受診率向上に向けた取組④

○協会けんぽが実施するクーポン事業に、保険者協議会として、県内での事業拡大に向けた働きかけを実施

→県内の保険者が参加する会議等で、参加を呼びかけ。

※「クーポン事業」：協会けんぽ福井支部が実施する事業で、特定健診早期受診者（10月末日までの受診）に対して、協賛店で利用できるクーポンを配布するというもの。事業に参加する保険者は、4・5月頃の受診券発送時に事業広報チラシ等を同封し、8・9月頃には未受診者あての勧奨を実施。（特典内容についての費用は、協賛企業が負担）